



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 高圧ガス工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4097 URL http://www.koatsugas.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)竹内 弘幸
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経理部長 (氏名)大北 隆行 (TEL)06-7711-2572
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	36,459	△2.4	1,940	△6.2	2,146	△8.4	1,392	△4.2
28年3月期第2四半期	37,386	△1.7	2,069	9.0	2,344	8.4	1,453	10.9

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,475 百万円 (259.1%) 28年3月期第2四半期 410 百万円 (△76.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	25.21	—
28年3月期第2四半期	26.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	74,859	48,774	64.0
28年3月期	75,905	47,823	61.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 47,970 百万円 28年3月期 46,917 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
29年3月期	—	7.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,500	6.5	4,700	2.4	5,300	2.8	3,300	6.8	59.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年3月期 2 Q	55,577,526株	28年3月期	55,577,526株
29年3月期 2 Q	371,766株	28年3月期	366,679株
29年3月期 2 Q	55,208,304株	28年3月期 2 Q	55,218,513株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国や新興国経済の減速、円高の進行などにより輸出が伸び悩み、個人消費も振るわず、景気の足踏み状態が続きました。

このような状況のなかで、当社グループは主力事業の一層の拡大強化に努めるとともに、安定的な収益力確保に向けてグループ一体となった積極的な営業活動に取り組んでまいりましたが、当第2四半期連結累計期間の売上高は364億59百万円(前年同期比2.4%減少)、営業利益は19億40百万円(前年同期比6.2%減少)、経常利益は21億46百万円(前年同期比8.4%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億92百万円(前年同期比4.2%減少)となりました。

当第2四半期連結累計期間における、セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ガス事業

『溶解アセチレン』は、造船業界向けや建設、橋梁など工事向け需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

『その他工業ガス等』は窒素、炭酸ガス、特殊ガスが新規需要先の獲得により増加しましたが、LPガス等の石油系ガスは輸入価格の下落に伴ない販売価格が低下し、売上高は前年同期を下回りました。

『溶接溶断関連機器』は、設備投資に持ち直しの動きがあり、売上高は前年同期を上回りました。

『容器』は、半導体向けステンレス容器、消火装置用容器が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は273億58百万円(前年同期比2.5%減少)、営業利益は18億27百万円(前年同期比7.4%減少)となりました。

② 化成事業

『接着剤』は、ペガールが新規需要先の獲得により紙用、塗料用、土木・建築用に需要を伸ばしましたが、シアノンが海外向けが為替の影響を受けて減少し、また、ペガロックは国内向けが新規需要先の獲得により、海外向けは高機能品が弱電分野の市場開拓により増加し、売上高は前年同期を上回りました。

『塗料』は、エアゾール製品は増加したものの、建築用塗料が改修需要の低迷と天候不順による工事の減少、また、消費増税に備えた需要家による昨年度末からの在庫の積み増しの影響を受けて減少し、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は88億1百万円(前年同期比0.1%減少)、営業利益は6億71百万円(前年同期比18.1%増加)となりました。

③ その他事業

鉄道事業者及びバス事業者向けのLSIカード、海外向けの容器及び光学機器の需要が減少し、売上高は2億99百万円(前年同期比39.9%減少)、営業損失は12百万円(前年同期は79百万円の営業利益)となりました。

(各事業別の売上高及び営業利益)

(単位：百万円)

事業区分	売上高		営業利益	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
ガス事業	27,358	97.5	1,827	92.6
化成事業	8,801	99.9	671	118.1
その他事業	299	60.1	△12	—
合計	36,459	97.6	2,486	94.8

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億45百万円減少し、748億59百万円となりました。流動資産は、売上債権の減少により前連結会計年度末に比べ13億41百万円減少し、422億8百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の増加等により前連結会計年度末に比べ2億96百万円増加し、326億50百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ19億96百万円減少し、260億85百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金、電子記録債務、1年内返済予定の長期借入金の減少により前連結会計年度末に比べ39億76百万円減少し、209億3百万円となりました。固定負債は、長期借入金の増加等により前連結会計年度末に比べ19億79百万円増加し、51億82百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、その他有価証券評価差額金、利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べ9億51百万円増加して487億74百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、155億75百万円となり、前連結会計年度末と比べ72百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、23億55百万円(前年同期比58.1%増加)となりました。

これは主に、法人税等の支払額が8億89百万円及び仕入債務の減少額が8億83百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が21億73百万円、売上債権の減少額が13億72百万円及び減価償却費が8億82百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、10億31百万円(前年同期比10.0%減少)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が9億58百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、13億79百万円(前年同期比287.2%増加)となりました。

これは主に、短期借入金の返済が7億90百万円、配当金の支払いが3億86百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成28年5月13日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、従来から定額法を採用している佐倉工場を除き法人税法の改正に伴ない、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,690	15,617
受取手形及び売掛金	21,645	20,008
電子記録債権	1,449	1,712
商品及び製品	2,430	2,488
仕掛品	408	447
原材料及び貯蔵品	1,149	1,163
繰延税金資産	599	607
その他	285	273
貸倒引当金	△108	△112
流動資産合計	43,550	42,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,667	5,772
機械装置及び運搬具（純額）	2,964	3,095
土地	13,121	13,123
建設仮勘定	316	161
その他（純額）	946	983
有形固定資産合計	23,014	23,136
無形固定資産		
投資その他の資産	404	369
投資有価証券	8,215	8,442
繰延税金資産	38	28
その他	761	746
貸倒引当金	△79	△72
投資その他の資産合計	8,936	9,145
固定資産合計	32,354	32,650
資産合計	75,905	74,859

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,268	9,607
電子記録債務	5,892	5,668
短期借入金	2,496	1,706
1年内返済予定の長期借入金	2,090	49
未払法人税等	896	783
賞与引当金	1,127	1,121
その他	2,107	1,967
流動負債合計	24,879	20,903
固定負債		
長期借入金	1,045	3,020
退職給付に係る負債	723	662
役員退職慰労引当金	34	36
繰延税金負債	654	720
その他	744	741
固定負債合計	3,202	5,182
負債合計	28,082	26,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,777	2,762
利益剰余金	39,639	40,645
自己株式	△195	△198
株主資本合計	45,106	46,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,291	2,414
為替換算調整勘定	89	4
退職給付に係る調整累計額	△570	△542
その他の包括利益累計額合計	1,810	1,876
非支配株主持分	906	803
純資産合計	47,823	48,774
負債純資産合計	75,905	74,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	37,386	36,459
売上原価	27,010	26,072
売上総利益	10,376	10,386
販売費及び一般管理費	8,306	8,446
営業利益	2,069	1,940
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	95	101
受取手数料	65	66
その他	221	198
営業外収益合計	384	367
営業外費用		
支払利息	30	18
為替差損	—	61
その他	79	81
営業外費用合計	109	161
経常利益	2,344	2,146
特別利益		
退職給付に係る負債戻入額	—	31
特別利益合計	—	31
特別損失		
投資有価証券売却損	—	0
ゴルフ会員権評価損	1	—
減損損失	—	3
特別損失合計	1	3
税金等調整前四半期純利益	2,342	2,173
法人税、住民税及び事業税	806	765
法人税等調整額	60	0
法人税等合計	866	765
四半期純利益	1,476	1,408
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,453	1,392

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,476	1,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,097	122
為替換算調整勘定	19	△84
退職給付に係る調整額	12	28
その他の包括利益合計	△1,065	66
四半期包括利益	410	1,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	404	1,457
非支配株主に係る四半期包括利益	6	17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,342	2,173
減価償却費	862	882
減損損失	—	3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	11	△6
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	76	0
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△57	11
退職給付に係る負債の戻入額	—	△31
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△12	1
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△88	△95
受取利息及び受取配当金	△97	△103
支払利息	30	18
投資有価証券売却損益(△は益)	—	0
為替差損益(△は益)	13	52
売上債権の増減額(△は増加)	1,138	1,372
たな卸資産の増減額(△は増加)	△48	△118
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,124	△883
未払消費税等の増減額(△は減少)	△437	△32
その他	△298	△83
小計	2,318	3,159
利息及び配当金の受取額	97	103
利息の支払額	△30	△18
法人税等の支払額	△896	△889
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,489	2,355
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△42	△21
定期預金の払戻による収入	42	21
有形固定資産の取得による支出	△1,107	△958
投資有価証券の取得による支出	△40	△51
投資有価証券の売却による収入	—	1
無形固定資産の取得による支出	△8	△30
その他の支出	△3	△6
その他の収入	12	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,146	△1,031
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100	△790
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	△66	△2,065
配当金の支払額	△384	△386
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△129
その他の支出	△4	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△356	△1,379
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12	△72
現金及び現金同等物の期首残高	14,797	15,648
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,785	15,575

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,075	8,811	499	37,386	—	37,386
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	28,075	8,811	499	37,386	—	37,386
セグメント利益	1,975	568	79	2,624	△554	2,069

(注) 1 セグメント利益の調整額△554百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,358	8,801	299	36,459	—	36,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	27,358	8,801	299	36,459	—	36,459
セグメント利益又は 損失(△)	1,827	671	△12	2,486	△546	1,940

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△546百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。